

令和6年 上期

景況調査報告書

令和6年1～6月期 実績

令和6年7～12月期 見通し

徳之島三町商工会

(令和6年7月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等、地域の経済動向について半期毎に変化の実態等の諸状況を迅速・的確に収集しているものである。

この報告書の中で用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値であり、企業の景気動向を表す指数として利用されている。

＜お天気マークの説明＞

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9～ +10.0	 まあまあ +9.9～ ▲9.9	 不振 ▲10.0～ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	--	--

- 調査対象期間 令和6年1～6月期を対象とした。令和6年7～12月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 徳之島町商工会・天城町商工会・伊仙町商工会
- 回答企業 対象企業 29企業
製造業：6企業 建設業：5企業 小売業：9企業
サービス業：9企業
(※徳之島の29企業を基に指数を表示しており、あくまでも参考指数とご理解いただきたい。)

島内産業別業況DI

		製造業		建設業		小売業		サービス業	
前年同期比	(2023年1月～6月期)	 12.5	 ▲15.0	 ▲11.1	 ▲5.6				
前期比	(2023年7月～12月期)	 16.7	 ▲20.0	 ▲11.1	 3.7				
来期見通し	(2024年7月～12月期)	 16.7	 ▲20.0	 ▲2.8	 ▲5.6				

総合（業況）

前年同期（2023年1月～6月期）と比較した今期（2024年1月～6月期）の業況は、製造業、建設業▲15.0、小売業▲11.1、サービス業▲5.6となった。今期について、前年同期と比較すると、新型コロナウイルス感染症が5類に移行になり消費が活発化したものの、物価高騰の影響により依然として厳し状況にある。また、前期（2023年7月～12月期）と比較すると、製造業16.7、建設業▲20.0、小売業▲11.1、サービス業3.7となった。人件費等の上昇、物価の高止まりの影響が大きく出ている。なお、来季（2024年7月～12月期）の見通し（DI）は今期と比較すると、製造業13.6、建設業▲20.0、小売業▲2.8、サービス業▲5.6の見通しとなり、今期との大きな変化はないと予想される。しかしながら7月支払い分からの電気、ガスの値上げ、新紙幣への対応など経費増額により厳しい状況が続くと思われる。

業種別景気動向

【製造業】 有効回答数 6企業

		売上額		資金繰り		採算		業況	
前年同期比	(2023年1月～6月期)		33.3		0.0		0.0		16.7
前期比	(2023年7月～12月期)		33.3		▲ 16.7	-	-		33.3
来期見通し	(2024年7月～12月期)		33.3		0.0		0.0		33.3

<調査対象企業が感じている景気判断コメント>

新規取引や引き合いが増えてきた。島外との動きも活発化している。

経営上の問題点

原材料価格の高騰、人件費の増加、需要の停滞

【建設業】 有効回答数 5企業

		売上額		資金繰り		採算		業況	
前年同期比	(2023年1月～6月期)		▲ 20.0		0.0		▲ 20.0		▲ 20.0
前期比	(2023年7月～12月期)		▲ 20.0		▲ 20.0	-	-		▲ 20.0
来期見通し	(2024年7月～12月期)		▲ 40.0		▲ 20.0		0.0		▲ 20.0

<調査対象企業が感じている景気判断コメント>

売上は減少傾向ながら資材や人件費の高騰で業況は厳しい。

経営上の問題点

材料価格の上昇、人件費の増加、経費増加、人手不足、熟練技術者の確保難

【小売業】 有効回答数 9企業

		売上額		資金繰り		採算		業況	
前年同期比	(2023年1月～6月期)		▲ 11.1		0.0		▲ 22.2		▲ 11.1
前期比	(2023年7月～12月期)		▲ 22.2		0.0	-	-		▲ 11.1
来期見通し	(2024年7月～12月期)		11.1		11.1		▲ 22.2		▲ 11.1

<調査対象企業が感じている景気判断コメント>

大型店やインターネット販売の影響を受ける中、電気代等高騰のダメージは大きい。

経営上の問題点

仕入単価の上昇、大型・中型店の進出による競争の激化、購買力の他地域への流出

【サービス業】 有効回答数 9企業

		売上額		資金繰り		採算		業況	
前年同期比	(2023年1月～6月期)		11.1		0.0		▲ 33.3		0.0
前期比	(2023年7月～12月期)		11.1		0.0	-	-		0.0
来期見通し	(2024年7月～12月期)		0.0		0.0		▲ 11.1		▲ 11.1

<調査対象企業が感じている景気判断コメント>

長期工事の影響があり、業況は回復傾向にある。

経営上の問題点

利用者ニーズの変化、店舗施設の狭隘・老朽化、人件費の増加